

# 訴 状

2018年7月31日

東京地方裁判所 民事部 御中

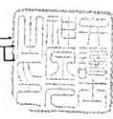
原告訴訟代理人弁護士 金 竜 介



同 佃 克 彦



同 神 原 元



当事者の表示 別紙当事者目録記載の通り

損害賠償等請求事件

訴訟物の価額 金1260万0000円

貼用印紙額 金5万9000円

## 第一 請求の趣旨

- 一 被告らは連帶して原告に対し、金 1100 万円及びこれに対する 2017 (平成 29) 年 1 月 9 日から支払済みまで年 5 分の割合による金員を支払え
- 二 1 被告株式会社 DHC テレビジョンは原告に対し、別紙番組目録記載 1 及び同 2 の番組につき、上映、放映、公衆送信、送信可能化、複製物の頒布その他方法の如何を問わず公表してはならない

2 被告株式会社DHCテレビジョンは原告に対し、別紙ウェブサイト目録記載1及び同2のウェブサイトから配信されている別紙番組目録記載1及び2の番組の動画につき、いずれもこれらを削除せよ

### 三 (二)の予備的請求)

被告株式会社DHCテレビジョンは原告に対し、別紙謝罪文目録1記載の謝罪文を、同目録記載の条件で掲載せよ

四 被告長谷川幸洋は原告に対し、別紙謝罪文目録2記載の謝罪文を、同目録記載の条件で掲載せよ *103回*

五 訴訟費用は被告らの負担とする  
との判決並びに仮執行の宣言を求める。

## 第二 請求の原因

### 一 はじめに

本件は、被告株式会社DHCテレビジョン（以下「被告会社」という。）が制作し、被告長谷川幸洋（以下「被告長谷川」という。）が司会を務めた映像番組「ニュース女子#91」（以下「本件番組1」という。）及び「ニュース女子#92」（以下「本件番組2」という。）が原告の名誉を毀損するものであるとして、原告が被告らに対し、損害賠償等を請求する訴訟である。

## 二 当事者

### 1 原告

原告は、東京都生まれで在日3世（韓国籍）の人材育成コンサルタントであり、2013（平成25）年9月に設立された市民団体である「ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク『のりこえねっと』」の共同代表を務める者である（甲1・「のりこえねっと」のウェブサイト）。

### 2 被告会社

被告会社は、テレビ番組の制作等を目的とする株式会社であり（甲2・被告会社の履歴事項全部証明書）、本件番組1及び同2を制作した会社である。

### 3 被告長谷川

被告長谷川は、本件番組1及び同2の司会を務めた者である。

後述する各番組の 放映時は、東京新聞・中日新聞論説副主幹であった。

## 三 本件番組1

### 1 初回放送

被告会社は、2017（平成29）年1月2日午後10時から、その制作にかかる本件番組1を、東京のローカル放送局である「TOKYO MX」を通じて放映した。

同番組中、原告に関わるものは、全1時間の番組のうち、放送開始後1分58秒経過した時点から「沖縄・高江ヘリパッド問題」とのテロップの下に始まった沖縄のヘリパッド建設に対する反対運動を取り上げた冒頭約20分の部分であり、その内容は別紙「本件番組1の内容」のとおりである（甲3の1）。

### 2 本件番組1による名誉毀損

本件番組1は、井上和彦（以下「井上」という。）が沖縄を取材した結果を収録したVTR部分と、その内容をふまえて出演者が話をするスタジオ収録部分とからなっている。

VTR部分は、沖縄の高江ヘリパッドの移設に反対する運動をする人びとを取材した結果の報告だという体裁が採られているところ、その内容は、反対する運動をしている人びとが、暴力も犯罪行為をも厭わずにこれを繰り返す人びとであるかのように描かれている。

そして、スタジオ収録部分の映像において、テロップや出演者の発言をもって、そのような、暴力も犯罪行為も厭わぬ人びとの活動に対し、原告

がそれを煽り、かつ経済的に支援しているかのごときことが述べられている。

即ち本件番組1は、原告につき、暴力も犯罪行為も厭わぬ人びとの活動を煽り、かつ経済的に支援する者であるとの事実を摘示するものである。

暴力も犯罪行為も厭わぬ人びとの活動を煽り、かつ経済的に支援していると言われることがその者の社会的な評価を低下させることは明らかであり、したがって本件番組1は原告の名誉を毀損するものである。

(なお、本件番組1において原告の名誉を毀損する具体的な場面や発言・テロップ等の内容については、おって準備書面において詳述する。)

#### 四 本件番組2

##### 1 初回放送

本件番組2は、本件番組1と同じ時間枠で、その翌週の同月9日午後10時から、「TOKYO MX」において放映された。

本件番組2は、1週間前の本件番組1の放映により同番組に抗議が殺到したと伝えた上で、約7分間にわたってスタジオで出演者がトークを繰り広げるものであった。その内容は別紙「本件番組2の内容」のとおりである(甲3の2)。

##### 2 本件番組2の内容

(イ) 本件番組2では、原告が共同代表を務める「のりこえねっと」を名指ししたうえで、同団体から高江ヘリパッド移設反対運動に経済的支援がなされている旨が出演者のスタジオトークで述べられ(別紙「本件番組2の内容」01:46~06:12)、その後、井上が、公安調査庁発行にかかる2015(平成27)年版の「内外情勢の回顧と展望」という冊子の記載の一部を朗読した上で(同06:22)、井上と須田慎一郎とが、

井上： 中国が、中国がこういう米軍基地反対運動の人たちに接触してい

ると、要するに近づいているということが、もう既に公安のこの分析の中にもあるんです。（別紙「本件番組2」07:24）

須田： この公安調査庁というのは法務省の外局ですからね、要するに日本のお役所が、いま井上さんが言ったことを正式に認めてるってことですよ。（同07:38）

というやりとりをし、中国と「米軍基地反対運動の人たち」との関係を公安調査庁が注視している旨を指摘している。

公安調査庁は、「破壊活動防止法」及び「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づいて、「破壊的団体」や「無差別大量殺人行為を行つた団体」の規制に関する調査等を任務とする府であり（公安調査庁設置法3条）、公安調査庁が注視している旨を指摘することは、当該団体が破防法上の「暴力主義的破壊活動」を行なうような危険な団体であることを指摘しているに等しい。

(二)かかるやりとりの後で被告長谷川は、

「ただね、僕ね、残念だったのはね、是非あのトンネルの向こう側に行って頂いて、もうボカス力殴られるんであってもなんでもとにかくね、やって、あのトンネルの向こう側を見たかったな。」

と述べ（別紙「本件番組2」07:46）、高江ヘリパッド移設反対運動をしている人びとが、暴力を振るう人間であるかのように言い、その危険性を強調している。

### 3 本件番組2の名誉毀損性

本件番組1は、三2のとおり、原告につき、暴力も犯罪行為も厭わぬ人びとの活動を煽り、かつ経済的に支援する者であるとの事実を摘示するものであるが、本件番組2は、原告が煽り支援している団体が、暴力行為や破壊行為を行なう危険性を有するものであることを改めて指摘しているものである。

本件番組2は、同1の翌週の同じ時間帯に放映されたものであり、また、“本件番組1に抗議が殺到した”旨を伝えた上で高江ヘリパッド移設反対運動に関して続報を伝えているものであるから、その内容において本件番組1と一体性を有するものであるといえる。

よって、本件番組2は、原告につき、犯罪行為も厭わぬ過激な集団の活動を煽り、かつ経済的に支援する者であるとの事実摘示をした本件番組1と相まって、その原告が煽動・支援している対象が危険な者たちである旨を改めて強調するものであり、原告の社会的評価を一層低下させるものである。

即ち、本件番組2は、本件番組1と相まって、原告の名誉を一層毀損するものである（即ち、不法行為の個数、名誉毀損の個数としては、本件番組1及び同2が一連一体となって1個である）。

## 五 被告らの責任

### 1 被告会社

被告会社は、本件番組1及び同2を制作し、「TOKYO MX」等の媒体を通じてこれを不特定多数人に公表しているのであり、被告会社が原告に対して名誉毀損の不法行為責任を負うのは当然である。

### 2 被告長谷川

被告長谷川は、本件番組1及び同2に、司会者として関与し、その番組の進行を司り、本件番組1において取材VTRを紹介し、本件番組1と同2において、スタジオ出演者のそれぞれの発言を特段否定も批判もせずに引き出し、そればかりかむしろ、

- ・ 本件番組1を「また機会があつたら是非」という言葉で締め（別紙「本件番組1の内容」21:01）、
- ・ 同2を「まあ、盛り上がっているということですよ。」という言葉で

締め（別紙「本件番組2の内容」08:45）

ていることから明らかだとおり、本件番組1及び同2の内容をいずれも肯定的に捉えることができるものとしてまとめている。

不特定多数人に向けたテレビ番組に出演する者は、当該番組において他人の名誉を違法に侵害しないようにすべき注意義務を負っているところ、被告長谷川は、上記のとおり、原告の名誉を著しく毀損した本件番組1及び同2につき、司会者として進行させたうえその内容において原告の名誉毀損部分について否定も訂正も批判もしなかったものであり、出演者の1人として、本件番組1及び同2がなした原告に対する名誉毀損につき、共同不法行為責任を負う。

## 六 原告の損害

### 1 損害額

原告は、「のりこえねっと」の代表者であり、沖縄の平和運動に携わってきたものである。

原告にとっては市民からの信頼が命である。

そのように市民からの信頼を手がかり足がかりにしている原告が、犯罪行為も厭わぬ過激な集団の活動を煽ったり支援したりしているなどと言われることは、市民からの信頼の喪失につながること必定であり、原告にとって致命的な打撃である。

また、信用棄損による原告の仕事に対する悪影響は甚大なものである。

かくして本件番組1及び同2によって原告が受けた打撃は致命的であり、これを金銭に換算すると、金1000万円を下らない。

また、原告のこの損害と相当因果関係のある弁護士費用は金100万円を下らない。

### 2 差止めの必要性

1で述べた通り、本件番組1及び同2は原告に対して致命的な打撃を与えるものであり、今後これ以上この名誉毀損が続いた場合、原告の損害の回復は不可能である。

よって本件番組1及び同2による名誉毀損には、人格権としての名誉権に基づく差止めが認められる必要がある。

かくして今後本件番組1及び同2は公表することを一切許されないというべきであるが、被告会社は、自社が開設し運営している「DHCテレビ」と題するウェブサイトにおいてこれらの番組を公開しており（甲4の1・「DHCテレビ」のウェブサイト）、また、いわゆる動画投稿サイトである「ユーチューブ」（You Tube）においても公開している（甲4の2・ユーチューブのウェブサイト）。

よって原告の被告会社に対する、差止請求は、被告会社に対して公表を禁じるとともに、「DHCテレビ」と「ユーチューブ」からの削除も命じられなければならない。

### 3 名誉回復処分の必要性

（一）原告の受けた損害の回復が金銭賠償のみで図れないことは2で述べたとおりである。

万一前項の差止請求が認められなかった場合、「DHCテレビ」や「ユーチューブ」を通じた原告に対する名誉毀損が継続することになる。

本件の名誉毀損行為はいずれもインターネット上でなされており、インターネット上の名誉毀損行為は、グーグル、ヤフー等の検索エンジンによっていつでも閲覧可能な状態にある（ここが、あえて録画しない限りものはや見ることができないテレビ放送の場合との決定的な違いである）以上、原告の受けた名誉毀損の損害を完全に回復するには、これらの名誉毀損言論に対する反対情報として、被告会社による名誉毀損行為が違法であることを対外的に宣言することが不可欠である。

(二) よって、民法 723 条に基づく名誉回復処分として、被告会社については、別紙謝罪文目録 1 記載の条件の謝罪文を、被告会社が本件番組 1 及び同 2 を公表しているウェブサイト上に掲載させることが適當である。

(三) 被告長谷川は、いわゆる短文投稿サイトである「ツイッター」を行なっており、そのフォロワーは 10 万人を超えており（甲 5・被告長谷川のツイッターのトップページ）。

前述のとおり、本件番組 1 及び同 2 は現在もなおインターネット回線を通じて公表され続けており、原告の損害は日々拡大している。

そうであるとすれば、共同不法行為者として本件番組 1 及び同 2 に関与した被告長谷川が、その甚大なフォロワーに向けて、別紙謝罪文目録 2 記載の条件の謝罪文を公表することが適當である。

## 七 結論

よって原告は、

- 1 被告らに対し、不法行為に基づく損害賠償として金 1100 万円及びこれに対する一連の不法行為の終了日である 2017（平成 29）年 1 月 9 日から支払済みまで民法所定の年 5 分の割合による遅延損害金の支払い、
  - 2 被告会社に対し、人格権に基づく差止めとして、請求の趣旨二の 1 及び 2 記載の通り、本件番組 1 及び同 2 の公表の禁止及び動画の削除、
  - 3 被告会社に対し、前項の差止請求の予備的請求として、民法 723 条に基づく請求の趣旨三記載のとおりの謝罪文の掲載、
  - 4 被告長谷川に対し、民法 723 条に基づく請求の趣旨四記載のとおりの謝罪文の掲載、
- をそれぞれ求める。

## 第三 関連事実

## 一 被告会社の代表者らの見解

被告会社の代表取締役社長である濱田麻記子と、「ニュース女子」の番組チーフプロデューサーである山田晃は、2017（平成29）年1月20日付けで、連名で「ニュース女子番組見解について」と題する見解を作成し、同年6月22日に「DHCテレビ」のウェブサイト上に公開した（甲6の1・「お知らせ」）。

そこで両名は、

「3) 基地反対派の取材をしないのは不公平との批判について」と題するチャプターにおいて、

「そもそも法治国家である日本において、暴力行為や器物損壊、不法侵入、不法占拠、警察官の顔写真を晒しての恫喝など数々の犯罪や不法行為を行っている集団を内包し、容認している基地反対派の言い分を聞く必要はないと考えます。」

と記し、基地に反対する者をすべて一緒にした独自の見解を披瀝するなどしている。

なお両名は、同年9月30日に同じものを「DHCテレビ」のウェブサイトに再び掲載した（甲6の2・「お知らせ」）。

## 二 「『ニュース女子』特別編 マスコミが報道しない沖縄 続編」の放映

被告会社は、2017（平成29）年3月13日、本件番組1の「続編」として、「『ニュース女子』特別編 マスコミが報道しない沖縄 続編」と題する番組（以下「本件番組3」という。）を放送した。この本件番組3は、現在、被告会社のウェブサイト「DHCテレビ」を通じて配信されている。

同番組は、本件番組1で報じた内容の正否や取材の当否を約70分に亘って検証し、議論する内容のものであったが、問題があった点としては、出演者の吉木りさがただ1人、取材に関して

「ある意味、事実確認が、少し少ないんじゃないかなというのは確かに感じます」（48:33）

と指摘した程度であり、結果として、報じた内容につき問題を指摘する発言はなく、総じて、本件番組1で報じた内容には全く問題がなかったという論調に終始するものであった（甲3の3）。

### 三 放送倫理検証委員会の意見

本件番組1につき、放送倫理・番組向上機構（BPO）の放送倫理検証委員会は、2017（平成29）年12月14日、意見を公表した（甲7・放送倫理検証委の意見）。

その意見において同委員会は、必要な取材が欠如している等、6点の放送倫理違反があったと判断している。

### 四 放送人権委員会の勧告

原告は、2017（平成29）年1月27日、本件番組1及び同2につき、同番組を放送した「TOKYO MX」即ち東京メトロポリタンテレビジョン株式会社を被申立人として、BPOの放送人権委員会に対し、「人権侵害申立て」をした。

2018（平成30）年3月8日、同委員会は決定を公表し、被申立人に対して勧告をした（甲8・放送人権委の委員会決定）。

同勧告において放送人権委は、本件番組1及び同2につき、名誉毀損が成立するとともに放送倫理上見過ごすことのできない問題があるとしている。

### 五 東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（TOKYO MX）による謝罪

2018（平成30）年7月20日、本件番組1及び同2を放送した東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（TOKYO MX）は、2018（平成30）年7

月 20 日、原告に対し、「お詫び文」と題する文書を交付して謝罪をした（甲9・「お詫び文」）。

同文書で、同社の代表取締役会長後藤亘及び同社長伊藤寛は、「（本件番組1及び同2）を放送したことについて真摯に反省し、社内で策定しました再発防止策を推進するとともに、当番組の放送によって辛淑玉様を深く傷つけたことを深く反省し、お詫びいたします。」と謝罪している。

### 証拠方法

甲1号証	「のりこえねっと」のウェブサイト
甲2号証	履歴事項全部証明書（被告会社）
甲3号証の1～3	DVD-R（本件番組1ないし3）
甲4号証の1	「DHCテレビ」のウェブサイト
同2	ユーチューブのウェブサイト
甲5号証	被告長谷川のツイッターのトップページ
甲6号証の1～2	「お知らせ」と題するウェブサイト
甲7号証	放送倫理検証委員会決定第27号
甲8号証	放送人権委員会決定第67号
甲9号証	「お詫び文」

### 附属書類

1 甲号証（甲2・甲9以外はいずれも写し）	各1通
2 訴訟委任状	3通
3 資格証明書	1通
	以上

当事者目録

原 告 辛 淑 玉

(送達場所)

〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目8番7号 矢口ビル5階A室

台東協同法律事務所

電 話 03-3834-5831

ファックス 03-3834-5833

原告訴訟代理人

弁護士 金 竜 介

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番3号 虎ノ門法曹ビル403

恵古・佃法律事務所

電 話 03-3500-4162

ファックス 03-3500-4164

原告訴訟代理人

弁護士 佃 克 彦

〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東2丁目895番地

武藏小杉ATビル505

武藏小杉合同法律事務所

電 話 044-431-3541

ファックス 044-422-5315

原告訴訟代理人

弁護士 神 原 元

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目2番5号

被 告 株式会社DHCテレビジョン

上記代表者代表取締役 吉 田 嘉 明

吉

被 告 長 谷 川 幸 洋

別紙

番組目録

1 下記の番組のうち、放送開始後 01 分 58 秒から 21 分 06 秒までの 19 分 08 秒間。

記

タイトル 「ニュース女子」

初回放送日時 2017（平成 29）年 1 月 2 日 22 時

番組の細目 ①「沖縄基地反対派はいま」

②「2017 年日本の政治・経済はどう動くのか」

③「ニュース女子反省会」

2 下記の番組のうち、放送開始後 01 分 32 秒から 08 分 51 秒までの 7 分 19 秒間。

記

タイトル 「ニュース女子」

初回放送日時 2017（平成 29）年 1 月 9 日 22 時

番組の細目 ①「日本経済～どうすれば給料が上がるのか？～」

②「公明党が政局のキーを握る理由」

③「若者はつらいよ」

## ウェブサイト目録

1 被告会社の開設している「DHCテレビ」と題するウェブサイト

(一) トップページのURL

- (1) <https://dhctv.jp/>
- (2) <https://dhctv.jp/#player-2>

(二) 本件番組1及び同2のURL

- (1) 本件番組1 <https://dhctv.jp/movie/100690/>
- (2) 同2 <https://dhctv.jp/movie/100691/>

2 「You Tube」と題するウェブサイト。

(一) トップページのURL

<https://www.youtube.com/>

但し、同ウェブサイトに被告会社がアップロードし送信可能化したもの。

## 謝罪文目録 1

### 1 掲載場所

被告会社の開設するウェブサイト「DHCテレビ」(<https://dhctv.jp/>)のうち、「『ニュース女子』#91」及び「『ニュース女子』#92」の動画を送信しているページ（<https://dhctv.jp/movie/100690/>、<https://dhctv.jp/movie/100691/>）

### 2 謝罪文の内容

#### (一) タイトル

ご報告とお詫び

#### (二) 本文

当社が2017（平成29）年1月2日及び同月9日に「TOKYO MX」を通じて放映し、その後、当ウェブサイトで送信してきた本番組「『ニュース女子』#91」及び「『ニュース女子』#92」は、沖縄における基地反対運動において、あたかも辛淑玉氏が、暴力も犯罪行為も厭わずにこれを繰り返す人びとの活動を煽り、かつ経済的に支援する者であるかのような内容を有するものであり、これにより同氏の名誉を毀損してしまいました。

本番組については、この度、東京地方裁判所より、事実に反し辛氏の名誉を毀損する不法行為であるとして当社に損害賠償を命ずる判決が下されました。

当社はここに、辛氏に関する本番組が事実に反し辛氏の名誉を毀損するものであったことをご報告致しますとともに、本番組によってその名誉を傷つけてしまった辛氏に対し深くお詫び致します。

年　　月　　日

株式会社DHCシアター

代表取締役 吉田嘉明

### 3 掲載条件

- (一) 2(一)のタイトルの文字は、掲載ページの番組タイトル「『ニュース女子』#91」及び「『ニュース女子』#92」と同じ大きさ。ゴシック体。
- (二) 2(二)の本文の文字は、掲載ページの「番組説明」及び「出演者」という文字と同じ大きさ。明朝体。
- (三) この謝罪文は、被告会社が「DHCテレビ」において「『ニュース女子』#91」及び「『ニュース女子』#92」の動画のいずれかを公表している限り削除及び改変をしてはならない。

別紙

## 謝罪文目録 2

### 1 掲載場所

被告長谷川のツイッター（@hasegawa24）のプロフィール欄

### 2 謝罪文の内容

この度、東京地方裁判所より、私が司会者として出演し、2017年1月2日及び同月9日に放送された番組「ニュース女子」において私が辛淑玉氏の名誉を毀損したとの判決が下されました。名誉を傷つけてしまった辛氏に対し、深くお詫びいたします。

### 3 掲載条件

掲載期間は、公表日から1年間。

本件番組 1 の内容

(初回放送: 2017 (平成29) 年 1月 2日)

分秒	発言者 ナレーション	発言内容	テロップ等
01:58	長谷川幸洋	(スタジオ映像) 今回取り上げるのは、沖縄米軍ヘリパッドの建設問題でございます。	「沖縄・高江ヘリパッド問題」
02:04	吉木りさ	昨年11月頃の機動隊の「土人発言」報道以降、ニュースがちょっとぱったり途絶えてしまったんすけれども。はい。	
02:14	長谷川	そこで、今ヘリパッド問題、一体現場では何が起きているのか。 軍事ジャーナリストというよりかは、軍事漫談家、井上和彦さんが沖縄に行って、取材してきてくれました。早速VTRを見ていきたいと思います。	「沖縄・高江ヘリパッド問題 今はどんな状況になっている?」「軍事ジャーナリスト 井上和彦」
02:37	井上和彦	(VTR部分) めんそーれ。 井上和彦です。 今日はですね、沖縄にやって参りました。実はですね、今大変話題になっております、高江ヘリパッドの建設現場で過激な反対運動が行われているということで、ちょっとこの現場がどのようにになっているのか、取材をするためにやって参りました。それでは、行って参ります。	「12月某日」「ロケ地: 沖縄」「めんそーれ」「『土人発言』以降報道が無くなった高江は今、どうなっている…?」
03:03	ナレーション	マスコミが報道しない真実。	「井上和彦沖縄緊急調査 マスコミが報道しない真実」
03:08	スタッフ	(以降、VTR部分最後まで画面左上に表示) 「緊急調査!!マスコミが報道しない真実沖縄ヘリパッド問題の‘いま’」 カメラ回して	

## 訴状

03:09	ナレーション	いきなり、デモ発見。	
03:11	井上	<p>いました、いました、いました、いました。反対運動の連中がですね、カメラ向けてるとですね、あいつだあいつだみたいな感じでちょっとこっちを見ています。</p> <p>この辺の運動家たちが襲撃をしに来るということを言っているんですよね。</p>	「井上さんは反対派にとって有名人」
03:29	ナレーション	井上さん、このまま突っ込んで襲撃されないんですか？	
	スタッフ	<p>近く行く？</p> <p>危ない。</p> <p>これ近づいたら危ない、危ない。</p>	
03:39	ナレーション	井上さん自ら取材交渉へ…しかし。	「取材交渉」
03:43	ナレーション	このままだと危険と判断し、いったん撤収。	「このままだと危険と判断 口ヶ中止」
03:48	井上	近づくとね、1人、2人立ち上がって、そして、こう、なんかね、敵意をむき出しにしてきて、かなり、あの、緊迫した感じになりますんで、ちょっとこのあたりではい、やめておきます。	
04:03	ナレーション	そんな状況の中、再び緊迫した現場へ。元祖反対派が集まる、普天間基地へ向かった。	(沖縄地図) 那覇市、高江、普天間基地に印
04:11	井上	<p>えー、米海兵隊普天間基地へやって参りました。</p> <p>実はね、これ普段ならば、ひどい状況になって…</p>	<p>「基地の外の反対派によるフェンスへの抗議活動」</p> <p>「車道を横断し罵声を浴びせる活動家」</p>
04:30	井上	<p>…ちょっと、どうなっているのかなと思って色々と地元の方に聞いてみると、なんとですね、</p> <p>ここで反対運動をやっている人たち、土日お休みのようなんですよ。</p> <p>週休2日のようですね。</p>	<p>「基地の外の反対運動の人たちは土日休み」</p> <p>「週休2日」</p>

訴状

04:45	ナレーション	ちなみに次の朝、ちゃんと出勤していた反対派の皆さん、お疲れ様です。	「翌朝AM 6:12」「きちんと月曜から出勤の基地の外の反対運動する活動家の皆さん」
04:52	井上	もう一つの理由は、この辺の反対運動の人達がどうやら高江のヘリパッド建設地の方に集中投入されているということ…	「基地の外の反対運動の活動家達が高江へリパッド移設反対デモに集中投入!?!」「高江に大移動!?!」
05:07	ナレーション	とにかく反対派の人達は高江に集結し、緊迫した状態に。	
05:13	ナレーション	そして、井上さんが次に向かったのは。	
05:16	井上氏	名護市、キャンプシュワブ。 うわ、なんなんだこれ。ブルーシートにテント、非暴力徹底抗戦、沖縄つぶしを許さない、うわー。定年を過ぎたような人たちばかりですよ。	(沖縄地図) 那覇市、名護市、高江に印 「定年過ぎた人たちばかり」
05:31	ナレーション	そう、反対派の過激デモを支えるのが彼ら「シルバー部隊」、万一逮捕されても生活に影響が少ない65歳以上のお年寄りを集め、過激デモ活動に従事させているという。	「過激派デモの武闘派集団『シルバー部隊』逮捕されても生活の影響もない65~75歳を集めた集団」
05:47	ナレーション	次々に高江に向かう機動隊。	「次々に高江に向かう機動隊」
05:50	ナレーション	我々の気分も盛り上がってきたのだが…。	「いざ！高江へ!!」
05:55	井上	二見杉田トンネルの手前までやってきたんですけども、ここはですね、辺野古よりさらに北の方に来たところなんすけれども、実はですね、このトンネルをくぐって行きますと、米軍基地の高江ヘリパッドの建設現場ということになります。 実は、ここへ来る前に、方々からですね、今ここは、ちょっと我慢してほしいと。	(沖縄地図) 那覇市、二見杉田トンネルに印 「トンネルの先がヘリパッド移設現場」「当日高江ヘリパッド移設現場は過激デモで危険な為ロケ中止の要請が…」
06:25	ナレーション	高江に向かっているロケの途中、地元関係者から、高江ヘリパッド建設現場が緊迫してトラブルに巻き込む可	

## 訴状

		能性があるので、今回の撮影を中止すべきだとの要請があり、残念だが井上さんにはロケを断念してもらうことに。	「井上さんにはロケを断念してもらうことに…」
06:44	井上	このトンネルの手前で、私は、はるばる羽田から飛んできたんですけど、足止めを食っているという状況なんですよ。	
06:56	ナレーション	反対派の暴力行為により、地元の住民でさえ高江に近寄れない状況。	「反対派の暴力行為により高江ヘリパッドに近寄れない」
07:03	ナレーション	はたして現状はどうなっているのか。地元に住んでいるこの人に聞いてみた。	「はたして高江はどんな状況…？」 「依田啓示さん」
07:09	依田啓示	12月のね、20日の返還に伴ってですね、今、最終盤に、大詰めになっているものですから、抗議団体がもう今、命がけで止めたろうということで、やっぱりもう先鋭化しちゃってるんですね。対立がね。	「12月20日に米軍北部訓練場の約4千ヘクタールを返還」「抗議団体が命がけでとめてやろうと先鋭化している」
07:24	ナレーション	警察でも手に負えない高江ヘリパッド反対デモ運動。地元の人も泣き寝入りするこの状態。	「警察も手に負えない高江ヘリパッド移設反対デモ運動」
07:33	依田	僕ら村民の、あのまあ日々の生活がですね、一切、もう止まってしまうくらいですね、公道にどんどん車を違法に駐車して何十台も重ねて対向車線に止めたりとかですね、つまり、普通に自分の畠に行きたい人も通れないとかね。	「村民の日々の生活が止まってしまうくらい」「公道に違法駐車して道路を封鎖する反対派の活動家」「普通に自分の畠に行きたくても通れない」
07:52	井上	救急車も止めたという話もありますが…。	「過激派が救急車も止めた？」
07:54	依田	それはあります。	
07:55	井上	本当なんですかそれ。	
07:56	依田	防衛局、機動隊の人が暴力を振るわれているので、その救急車を止めて現場に急行できない事態がしばらくずつ一つと続いていたんですね。 無秩序な状態が…。	「機動隊員の人が暴力を振るわれているので」「その救急車を止めて現場に急行できない」

## 訴状

08:06	井上	テロリストみたい。	「テロリストみたい」
08:07	依田	もう僕はテロリストだって言っても全然大げさじゃないと思います。	「僕はテロリストと言つても全然大げさじゃないと思います」
08:11	ナレーション	なぜ、後先考えず犯罪行為を繰り返すのか。	「なぜ犯罪行為を犯すのだろうか？」
08:17	ナレーション	その裏には信じられないからくりがあった。	「そこには報道されない真実が!!」
08:23	ナレーション	その事実を知る人に会うため、我々は辺野古に向かった。	
08:30	井上	これね、今日、手登根さんからね、驚くべきものももってきいていただいたんです。(チラシの記載を指さし)連合会館の2階の大会議室で。これ、東京で配られていました。びっくりしたのがね、ここにね、韓国の方ですよね、確かね。	「ラジオDJボギー手登根」 (チラシのアップ)「ホットケナイ、高江。ないぢゃ～大作戦会議!全員集合 2016年9月9日」
08:44	ボギー手登根	そうですね。	
08:45	井上	福島みづほさんまで書いてあるのですよ。びっくりしたのが、5万円あげますって書いてあるんです。	
08:52	手登根	あとは自力で頑張って下さいと。	
08:54	ナレーション	いったい何を頑張るというのだろうか。	「いったい何を頑張るのか…?」
08:57	ナレーション	さらにこんなものまでが。	
09:00	手登根	これは実は、普天間基地の周辺で見つかった茶封筒なんですね。「光弘」という名前と、「2万円」という金額が書かれています。両方とも同じ材質で同じ場所で見つかっています。	「普天間基地周辺で発見された茶封筒」「反対派は日当を貢いでいる!?!」
09:16	ナレーション	これが事実なら、反対派デモの人達は何らかの組織に雇われているのか。	「反対派の人達は雇われている!?!」
09:23	ナレーション	さらに我々の知らない沖縄の情報を教えてくれるこの	「キャスター我那覇真子」

## 訴状

		女性に話を聞いた。	
09:30	我那覇真子	例えば、韓国から活動に来たっていうある男性が奥さんと来て、捕まって中にいたんですよ。	「韓国から（基地反対デモ）活動に来た男性が奥さんと来て」
09:36	井上	はい。	
09:37	我那覇	奥さんに対して愛の手紙を書いたと。	「奥さんに対して愛の手紙を書いた」
09:39	我那覇	手紙がまた新聞記事に写真として載るわけなんですよ。新聞社は美しいストーリーに書き換えちゃうんです。この人はやっちゃいけないことをやっているから中にいるはずなのに、それはおいといて、なんて美しい反戦平和運動なんだろう、みたいなことをするんですよ。	「手紙が新聞記事に載る」「沖縄の新聞社は犯罪を美しいストーリーに書き換える!?」
09:59	井上	新手の韓流映画かい。 そんな中で、警察の人も大変ですよね。	「新手の韓流映画かい!!」「警察の人も大変？」
10:05	我那覇	そうですね。我々からしたら、どうしてまた地元の住民の人達にも迷惑がかかっているのに、それ取り締まらないのって憤りもありますけど。 でもやっぱり現場の警察官はできる範囲のことは毎日頑張ってて。 何よりもその仕事するべき警察のトップは、あの方です。翁長知事なんです。	「地元の住民に迷惑かかっているのに取り締まらない…?」「現場の警察はできる限りは頑張っている」「警察のトップは」「あの方です」「翁長知事です」
10:26	井上	あの方なんだ。	「今回の取材で井上和彦が感じたことは…」
10:32	我那覇・井上	沖縄を返せ～	「沖縄を返せ～」「完」
10:38		(スタジオ映像)	「本当のこと教えて下さい」
10:40	ナレーション	マスコミの報道しない自由のせいで隠された真実を教えて下さい。  (以降、終了まで画面右上に表示) 「沖縄・高江ヘリパッド問題の“いま”」	「マスコミの報道しない自由のせいで隠された真実を教えて下さい」

10:47	杉原杏璃	なんか、このロケに同行されたスタッフさんが、反対派に拘束されそうになってすごい危なかったというのを聞いたんですけど、本当ですか。	
10:57	井上	僕が、その、もうとにかく行けない状況なもので、それでディレクターだけが行って。「とにかくカメラを向けると凶暴化する、襲撃される」と言わされたので、それをこそっと1人で行ってカメラを取り上げて持ち出そうとしたら、わっと車が挟み撃ちをかけてきたので、彼はとっさに逃げたって言っていた。もういきり立っているので、とにかくどんなことがあってもいいから12月22日の完全返還の日程をとにかくもう延ばそう延ばそうとして、とにかく車で行くと、前の方に人が出てくるから止まりますよね、止まるときの辺にこうバーッと妨害されて車が動けないような状況になったりもするらしい。	
11:37	脊山麻理子	なんで報じないんですか。	「なぜメディアは報道しないのか？」
11:39	井上	だからもう、みんなメディアがほら、反対派っていうのを美しき反対運動、平和を愛する人たちの、ってやるから、だから我々がカメラを向けると、入れない。	「平和を愛する人々と見なしてニュースにしない」
11:50	長谷川	他のメディアもそうなの。それは井上さんだけなの。	
11:52	井上	いや、他のメディアもそうです。だからほとんど映像が出ないです。	
11:56	脊山	ユーチューブとかでたまに上がっていますけど。	
12:00	井上	だから、実際、地元の人で、依田さんという方は地元の人なんですよ。地元の人でもああやって襲撃されて、もう、こついたってことで訴えられて…。	
12:09	脊山	そのボスは、日本の方ではないってことですか。	
12:12	井上	もうわからないです。とにかくだから、韓国人はいるわ、中国人はいるわ、という状況になっている。 だから何でこんな奴らが反対運動をやっているんだつ	「誰が何のために反対運動をしているのか？」

		ていうので、地元の人は怒り心頭になっているというのを聞きました。	
12:24	吉木	八田さん、どうですか。	
12:26	八田亜矢子	彼らの中には彼らなりの正義感があつてやっているのかなと今まで思っていたんですけども、どうやら、なんかねVTRを見てみると、お仕事として反対されている方々が本当にいるのかどうかっていうのも疑問だし、翁長知事を選出したのも一応沖縄に住んでらっしゃる方たちでしょ。じゃあ本当に沖縄に住んでいる大多数の意見っていうのはどういうところにあるのかなっていうのは不思議だなと思います。	
12:51	井上	大多数の人は、もう別にそんなね、もう米軍基地反対とかっていう声って聞かないんですよ。それは。	
12:56	八田	そうなんですか。	
12:58	吉木	ちなみにREINAさんは？	
13:00	REINA	いやあの、メディアの報道の仕方も疑問に思うんですけど、機動隊とか警察とか米軍警察含め、なぜ取り締まりがこんなに消極的なのかが分からぬですね。	「警察はなぜ取り締まらないのか？」
13:11	井上	だから、トップがやっぱりまあ翁長さんだ、っていう話を地元の人はされるんですよ。で、もう一つは沖縄の機動隊がやると、その顔写真をばらまかれるんです。で、その人達の住所、電話番号、家族、お前の嫁さんを強姦してやるぞとかって、こんなことやられたら精神的に参るんです。	「顔写真をはじめ、住所や電話番号まで公開され、家族も嫌がらせを受ける」
13:32	REINA	米軍警察はどうなんですか。	
13:33	井上	もう手を出せないですだから。日本の警察が対処しているから。防衛施設庁の一応施設になるわけですから。だから、したがって、その大阪から、あるいは東京から機動隊が応援に行くわけです。そうせざるを得ない。で、反対している奴は、大阪から来ている奴なんで、	「警視庁、大阪府警からの応援も」

## 訴状

		大阪弁同士でぶわーやり合うんで、地元の人は何を言つ ているかわからない。	「当事者無き、虚しい言 い争い」
13:55	吉木	不思議な現象ですね。	
13:56	井上	なんじゃお前、とかっていう話で。	
13:57	上念司	外人部隊同士ということですね。	
13:59	井上	こんなような状況で。	
14:01	吉木	ある意味沖縄県民の方は蚊帳の外にされてますよね。	
14:04	井上	だから、全くわからない。	
14:06	須田慎一郎	よくね、「琉球新報」とか「沖縄タイムス」が記者が 拘束された、逮捕されたってことで、報道の自由を侵さ れたというキャンペーンを張るじゃないですか。完全に それ以上の状況に井上さんは置かれていますよね。	
14:19	井上	だから我々もできるだけ近づこうと思ったんですけど、周りからね、これは本当に、要するに我々の車が足 止めされることで、工事のトラックが入れないんですよ。	
14:32	杉原	地元の方とかもね。	
14:33	井上	本当に細い道なんで。	
14:35	岸博幸	この過激な行動をしている奴らのうち、沖縄の地元の 人の割合は、どれくらいいると思いますか、割合。 また外から交通費を貰ってきた人間もいっぱいいると 思うけど。	「反対運動に沖縄県民は 何割いるのか？」
14:43	井上	まだから中には教職員上がりだとか、労働組合上が りの人間は沖縄の人間として入っているらしいんですけど、地元の人達は、もう全然。	「県外からの参加者も多 数」
14:53	岸	沖縄に昔関わっていた経験から、実は沖縄の人みんな.. アメリカ好きなんですよ。多分ここまで明確に身体を張	

## 訴状

		った過激な反対をするとはとても思えないから。	
15:04	須田	そういう意味では、井上さんがさっき取材してくれた、この情報っていうのは貴重だなと思ったのは、「のりこえねっと」の辛さんの名前が書かれたパンフレットがあったじゃないですか。この方々っていうのはもともとは、反原発、そしてそれに続いて反ヘイトスピーチ、そしてもう職業的にずっとやってきて、今沖縄行っていると。その辺は上念さんが筋目詳しいんだけども。	「『のりこえねっと』“辛淑玉”は何者？」 「反原発、反ヘイトスピーチ、基地建設反対など…職業的に行っている?」
15:27	上念	はい。「すきま産業」です。いわゆるね。何でもいいんです。盛り上がりがれば。	
15:30	八田	あの交通費5万円は、財源はどこなんですか。	
15:33	長谷川	これは誰が出しているの。	「沖縄・高江ヘリパッド問題」「反対運動を煽動する黒幕の正体は?」
15:35	井上	これ本当にわからないんですよ。だからね、これ、「のりこえねっと」というところに、まあこれ書いてあって。で、お茶の水でやっているわけですよね。	
		CM	
17:43	長谷川	普通のメディアはこれを報じようと思ったら報じられる？	
17:47	井上	だから、地元のメディアなんかは、歓迎されるわけですよ。地元のメディアは。	「地元メディアは歓迎される!?!」
17:52	岸	彼ら寄りの「琉球新報」とかは。	
17:54	須田	井上さんもさあ、腕章に「琉球タイムズ」って書いたら。	
18:01	長谷川	地元のメディアは、要するにシンパシーがあるから。	
18:05	上念	彼ら寄りの報道するからですよね。	「反対運動を擁護するから特別待遇!?!」
18:07	岸	じゃあ東京のメディアはダメってこと？	

18:08	井上	だから、もう彼らが勝手に検問するらしいんですよ。警察が検問するんじゃなくて。	
18:14	長谷川	つまり、あなたは誰ですかって。	
18:18	井上	お前なんかは、こんな、ここに行く権利ないとかって言われて。	
18:23	須田	だって法的に根拠ないでしょ。	
18:24	井上	ないです。ないです。	
18:25	須田	でもさあ、それさあ、乱暴なヤクザでもやらないよ。そんなこと。	
18:29	武田邦彦	問題は、土人の発言の問題が起きた時に、政府は地元側、反対側につきましたよ。土人発言がいけないって言いましたよ。官房長官が言いましたよ。	「反対運動は政府が公認した!?」
18:40	八田	それは、事実を知らない人が多いからではないですか。	
18:43	武田	いやいやそんなことないですよ。だって、官房長官から何からみんな知ってんだもの。	
18:46	須田	これは歴史的経緯があってね、こういうことなんですよ。基地の移設だとか、開設だとか、工事だとか、埋め立てだとかっていう工事をやるときに必ず陸路から入ってくるわけですよね。で、それを身体を使って妨害されると必ず工事が過去ストップしてきた経緯がある。その過去の経緯があるから、あまり刺激したくない。刺激するもへったくれもないけどね、あの状況を見てみると。だから中央にいると刺激したくないっていう意識が働いちゃうんじゃないかなと思いますよね。	「刺激しないための大人の対応だった!?!」
19:11	長谷川	でも、ちょっと聞きたいのは、お金ですよ。5万円日当出すなんて。これは誰が出しているの。	
19:20	井上	これ、本当にわからないんですよ。だからね、これ「の	「反対運動の日当は誰が

## 訴状

		りこえねっと」というところに、まあこれ書いてあって。で、連合会館で、お茶の水でやっているわけですよね、これ。お茶の水でやっているの。だから、東京から、そういう反対派の人達、さあ一緒にみんなおいでよ5万円あげるからと。いうことで、まあ格安の、格安のチケットで行けば、そりゃ行けますよね。	出している?」「東京・お茶の水で集合、出発?」
19:39	須田	この辛さんっていうのは、あれなんですよ。在日韓国・朝鮮人の差別ということに関して戦ってきた中では、カリスマなんですよ。もうピカイチなんですよ。お金がガンガンガンガン集まつてくる。	『のりこえねっと』“辛淑玉”は差別と戦うスペシャリスト
19:50	杉原	ちょっと分かんないんですけど、中国が反対する理由は、やっぱり沖縄にアメリカ軍がいなくなって欲しいというのはわかるんですけど、韓国がそうやって沖縄にこだわるのは何で。	「韓国人はなぜ反対運動に参加する?」
20:00	上念	親北派ですから。韓国の中にも北朝鮮が大好きな人がいる。パククネ反対デモだって、ねえ。	「親北派のため、米軍基地の建設を妨害している」
20:06	藤井巖喜	パククネ反対デモだってチャイナの影響力受けたり北朝鮮の影響力を受けた人達が主力で煽っているのは確かなんです。	
20:13	岸	この無法地帯のところに、武田先生がおっしゃったように、ちょっと官邸弱腰だよなと。それは別にこういう問題だけではなくて、こういう無法地帯に年間3000億円の沖縄振興費が流れているわけです。これが結構いろいろないかがわしい用途に使われていることも結構あるんですね。既得権益化して。	「無法地帯に沖縄振興費3000億円の一部が…」
20:32	長谷川	この手の反対運動で、例えばちょっと怪我人が出るとか、ましてや死者が出るとか、そんな話にでもなつたら、それこそ火がついてしまうからね。	
20:42	井上	だから、結局我々が行けなかつたのも、繰り返しになりますけど、行くことによって僕らが加害者になるわけじゃなくて、被害者になつても、そこで捜査のためにトラックが。	

## 訴状

20:54	長谷川	それでまたもめると。
20:55	井上	トラックが、動けない状況になってしまう。
20:57	須田	飛んで火にいる夏の虫になっちゃうわけだ。
20:58	井上	なっちゃう。
20:59	長谷川	ああ、そういうこと。
21:01	長谷川	井上さん、御苦労様でした。 また機会があったら是非。
21:04	須田	機会があったらじゃなくて、繰り返し行って欲しいよね。
21:06		(終了)

## 本件番組 2 の内容

(初回放送：2017（平成29）年1月9日)

分秒	発言者	発言内容	テロップ等
01:32	長谷川幸洋	(スタジオ映像) さて、今週の気になったニュースなんんですけど、西川さん、あれなんですよ、あのね、2日から「ニュース女子」がね、ツイッターでね、大炎上。してるんです。	
01:46	長谷川	(以降、スタジオ映像最後まで画面右上に表示)「ニュース女子に『ヘイト』『捏造だ』と抗議殺到」 井上さんのルポの中で、ある「のりこえねっと」っていうんですけど…このチラシ、ビラ。右側のこのチラシを紹介したんだけど、この中に、この団体が市民特派員を沖縄に派遣しましょうと、ついては航空機代5万円を差し上げます、と言って、要するに5万円で動員してんじゃないかっていう趣旨のことを、まあレポートしたわけです。	2つのチラシの映像 「高江に『私たちの市民特派員』を作ろう!」「ないちゃ～大作戦!全員集合」「『5万円貰ってない!』『手弁当』だと大炎上」
02:12	武田邦彦	これは井上さんが作ったやつ？	
02:15	井上和彦	いえ、私は作ってません。私は作ってません。私は作ってないですよ。向こうの、ねえ…。	「軍事ジャーナリスト井上和彦」
02:23	長谷川	そしたらね、前に出てると思いますけど、ツイッターでね、要するに5万円でデモ隊を動員したんじゃないみたいに伝えたこの番組はけしからんと、それでワーッと来たわけ。	「『5万円貰ってない!』『手弁当』だと大炎上」「1月5日（収録日）までの抗議に対し検証しています。」
02:37	西川史子	え？でも、その通りじゃないですか。	
02:39	井上	いやでもデマ。デマだって言われた。	
02:41	長谷川	デマだと。5万円くれるのはデマだって。	
02:44	井上	いやデマじゃないですよ。だって地元の人インタビ	

		ユーして、で、あの紙に書いてあるんですよ。	
02:51	西田藍	5万円をそもそも貰わないと一般人は沖縄行けないから、別に何が悪いのかと思っちゃったんですけど。	
02:56	武田	いや僕も同じ意見。僕が言おうと思ったらあなたに先越されたけどさ。あなたすごいね。	
03:01	西田	沖縄に行きたいと思う市民運動家というか、方たちが、一般人、そうですね、行けないですよ。	「5万円貰うことの何が問題なのか？」
03:07	武田	なんかね、これ見るとね、5万円貰うのは気が引けるみたいよ。これツィートした人はね、なんか5万円貰うことに、なんか気が引ける。	
03:17	井上	手弁当だと。自分達は何もそんなのもらっていないっていう人まで出てきてそれを否定するから。いや、いいんですよ別に。貰おうが何しようが。	
03:26	吉木りさ	でも、本当に私たちのツイッターにも結構来ましたね。お前達は何てことを言ったんだ。俺たちはどんな気持ちでのデモをしているのか。分かっているのかって。	
03:40	勝谷誠彦	知るか、そんなこと。勝手にやってるんだから。知るかそんなもの。 あのさ、井上さんさ。俺知りたいのはこの5万円の出どころ。財源は何なの。	
03:48	井上	財源がね、やっぱり問題だと思うんですよ。これも色んなね、まあ基金のようなものもあるだろうし。いやよく分かんないです。だけど5万円って、1人5万円ってね。	「気になる5万円の出所は？」
04:00	長谷川	勝谷さん、この間、放送した番組でも私がそれを再三聞いたんですよ。これ、はっきりしないね、はっきり言って。まあ要するに市民団体で「のりこえねっと」というんでしょ？まあそれなりに寄付は集まっているかもしれない。	「抗議側は『多くは平和を愛する人々からの寄付だ』と反論。何処からの寄付!?」

## 訴状

04:14	武田	やましい事してないんだからちゃんと出せばいいのにね。	「中部大学教授 武田邦彦」
04:16	末延吉正	今までの運動のケースでも、実は政治資金規正を後でやると、政治家の側からそういう市民団体のほうへ出てたケースが、菅直人さんのケースとかあったよね。だから、色々な組織を作つて運動されている場合、お金は色々な所からやって来るから、長谷川さんはジャーナリストだから、ちゃんとそれを知りたいって思うのは、すごく僕は大事だと思うよ。	「ジャーナリスト 東海大学教授 末延吉正」
04:40	須田慎一郎	そもそもね、このパンフレットが偽物だとかでっち上げだとか言うんなら分かるんだけども。だってこれ書いてあるじゃない。そもそもここに。	「経済ジャーナリスト 須田慎一郎」
04:49	長谷川	この左の方のこの字、これは番組で初めて出すと思うんだけど、要するに同じことでしょ。この「のりこえねっと」が募集している紙ですよね。	2つのチラシの映像 「高江に『私たちの市民特派員』を作ろう!」「ないちゃ～大作戦!全員集合」
05:01	井上	だから、もともとこれはお茶の水の連合会館で、9月9日にこういう集会があつて配られたものなの。そこに5万円差しあげますと。交通費相当、飛行機代相当の、と書いてあるので。だけど、その、正月の批判は、とにかくネトウヨ、ヘイト、レイシストというような言い方で彼らの三種の神器みたいなものですよ。	「『ネトウヨ』『沖縄韓国ヘイト』『レイシスト』」
05:25	杉原杏璃	これが世に出ることがいけないっていうことをおっしゃっているんですか。	
05:30	長谷川	世に出たってさ、まあはっきり言って百歩譲ってですよ、本当に5万円出て送ったって、別にだからどうなの?って話だよね。	「5万円貰ったっていいじゃない」
05:38	井上	その通りだと思いますよ。	
05:39	西田	ここに書いてありますよ。5万円を支援します。あとは自力で頑張って下さい、って書いてある。	

## 訴状

05:45	長谷川	何の問題もないと思うよ。	
05:47	勝谷	ただ、これね、特派員って言ってるんですよね。元特派員としては非常に腹が立つのは、これ、1000字書けばいいだけ。この原稿料高いね。原稿用紙400字1枚2万円だよ。つまり、1000字なんかでこの深い問題を書ける訳がないわけですよ。つまりは1人でも多くの人間を動員しようということが本当の意図でしょ。違いますか。	「コラムニスト 勝谷誠彦」
06:12	長谷川	勝谷さん、これ、原稿料破格に高いよ。私の「現代ビジネス」のコラムでもそんなに貰えない。	「動員？特派員？どっち？」
06:22	井上	あとは、まあ私が二見のトンネルの手前で引き返したと。そこから30分ほど行ったところに実は高江のヘリパッド基地があるんですけども。なぜそこに行けなかつたかというと、やっぱりいろんな人から「やめなさい」と。実はね、公安調査庁が出している、こういう資料があるんです実際に。これね。でここにね、「内外情勢の回顧と展望」っていうのがあって、これはもう既に、平成27年の段階で出ているやつにどう書いてあるかというと、在沖米軍基地撤去に向けた運動に取り組む反対派住民団体などの主張を日本国民の政府批判の声として世論戦での材料に利用するとともに、琉球独立勢力に接近するなど、日米同盟分断や尖閣諸島領有権問題での揺さぶりを企図した動きも…。	「現地の被害者から『今は危険過ぎるから行くな!』と言われて引き返したあのトンネルの向こう側」「公安調査庁も把握している 基地反対派周辺の危険な動向」
07:21	西川	何を言っているのか全然分からぬ。	
07:24	井上	中国が、中国がこういう米軍基地反対運動の人たちに接触していると、要するに近づいているということが、もう既に公安のこの分析の中にもあるんです。	
07:38	須田	この公安調査庁というのは法務省の外局ですからね、要するに日本のお役所が、いま井上さんが言ったことを正式に認めてるってことですよ。	
07:46	長谷川	ただね、僕ね、残念だったのはね、是非あのトンネルの向こう側に行って頂いて、もうボカス力殴られるんであってもなんでもとにかくね、やって、あのトンネルの	「トンネルの向こう側が見たかった」

## 訴状

		向こう側を見たかったな。	
08:02	勝谷	それより、俺、残念だったのは、今日これをこういう風に収録しないで、5万円貰って俺が行ったよ。潜入で。	「勝谷誠彦が潜入調査!?」
08:11	須田	潜入にならないだろ、この顔だったら。	
08:15	勝谷	2人で行く。	「潜入!?」
08:16	長谷川	ああ、2人で行く？	
08:17	末延	だめ。2人で行ったらね、ヤラセっていわれるよ。	
08:19	長谷川	いずれにせよ、こういうことを報道すると、こういう風に、いろいろね、波風騒いで恫喝もされるんだということがよく分かった。	「他局が全く報道しない気持ちも分かりました」
08:29	勝谷	あのね、メディアは波風騒ぐのが一番いいんです。ああそうだね、いい番組だね、いやその通りだなんていいうのが一番つまんない。	「お行儀のいい番組」
08:37	長谷川	その通りだね。	
08:29	勝谷	もめればもめるほど話題になってみんなが真剣に考えるんだと。	「真剣に考える契機になれば本望です」
08:41	武田	このツイッターの人って恩人だね。僕らの。	
08:42	勝谷	恩人ですよ。	
08:45	長谷川	お休みの間にいろいろ騒ぎになりましたけれど、まあ、盛り上がっているっていうことですよ。	「これからも皆さんと議論を深めていきたいと思います」
08:51		(終了)	